

幅広い立場から集会への賛同・参加が

#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ！ 10・20総行動

10月20日、秋晴れの青空の下、東京の日比谷野外音楽堂を会場に、「#いのちまもる 医療・社会保障を立て直せ！10・20総行動」が開催され、同仁会から職員9人、友の会から2人、労組から2人が参加してきました。「総行動」には、新型コロナウイルス流行以前、同仁会からも毎年、参加者を派遣してきましたが、今回は流行後では初めての現地参加になりました。集会全体では会

場参加500人と、コロナ禍前に比べてやや寂しい数でしたが、「オンライン同時配信への参加が600人」と発表され、全体では1000人を超える規模で、時代の変化も感じました。集会は、世相・政治風刺のユーチューブ動画で有名な「せやろがいおじさん」のトークショーで開会。在任の沖縄の地で感じる戦争の足音に、無関心でなく、反対の意思を声を上げていく大切さ

を、軽妙なおしゃべりを通じて訴えていました。リレートークでは、医療、介護、保育の各界から5人の発言がありました。どの発言も、新型コロナウイルス対応に、ぎりぎりのところで踏ん張っている切実な状況が報告されるとともに、コロナ禍のもとで露呈した、日本の脆弱な医療、介護・福祉の提供体制現場の立て直しへ、国がきちんと責任を果たすことを求める内容でした。

響く迫力の和太鼓演奏や有志による体操教室、うるま御殿の沖縄民謡など、観客席はステージ企画の観覧をする人々で埋め尽くされ、会場はたくさんの方の拍手や笑顔で包まれました。



国労災病院労働組合)の組合員からの発言もあり、幅広い立場から集会への賛同、参加があったことを感じました。コロナ禍で傷んだ医療・福祉の立て直しへ国が責任を果たすこと、そのために改憲や軍拡でなく、憲法を生かすこと、そして医療・社会保障の拡充へ、手を取り合い、声を上げていく足場を感じることでできる集会でした。

集会には日本医師会会長、日本歯科医師会会長からそれぞれ連帯の挨拶が寄せられるとともに、民医連事業所の職員、他(社会医療法人同仁会 専務理事 森 高志)

この日の一体感を新クリニックでも

耳原鳳健康まつり



なんとという快晴！なんというお祭り日和！「楽しい時間を過ごしたい」という私たちの気持ちを

後押ししてくれるかのような秋晴れの中、10月30日に「耳原鳳健康まつり」が開催されました。新型コロナウイルスが収まらない情勢を考慮し、



開催時間を午前のみ、また会場内でも飲食を禁止するなど、制限をかけたざるを得ず、模擬店の数も少なく、例年のような盛り上がりを見せるかという不安がありました。しかし当日を迎えてみると、各模擬店の工夫はもちろん、体の芯まで

今回の「健康まつり」は、地域に向けた新クリニック建て替えを訴える機会でもありました。この地域で診療を継続すること、皆さまとともに作り上げていくことを話された田端所長や江戸会長、来賓の皆さまの言葉には、並々ならぬ思いを感じました。なによりもステージから見た一体感を、新クリニックでも継続しなければいけないと強く感じました。

最後に、500人以上の人々にお越しいただき、時間を共有できたこと、限られた中でご準備いただきました皆さまへ感謝するとともに、新クリニックへ向け、力強く歩んでいきたいと思えます。

（鳳クリニック 管理課長 石井 慧介）

みみはら 十人十色

シリーズ みみはらの人 ⑳



おおく ほともよ 大久保倫世さん 泉州看護専門学校 教員

病院と学校が丸で、未来の看護師を育成

21回目は、助産師であり、泉州看護専門学校の教員として頑張っている大久保倫世さんです。

現在の職業についてと想ったきっかけや理由は？

昨年まで助産師として耳原総合病院で働いていましたが、「学生や後輩に適切な指導ができていないのか」と悩んでいました。そこで「教育について学びたい」と考え、専任教員養成講習の受講を希望しました。

仕事の内容、仕事をするうえで大切にしていることなどは？

主な仕事は、授業、実習指導（産科実習担当）、生活指導です。学生の学びを助けることができる関わり方を意識

し、コミュニケーションを大切に、成長を見守っていきたくです。また、働く場所が変わっても、助産師としての女性を支える役割を担うことができるように、視野を広く持ち続けたいです。

仕事をしたいって憤りを感じることは？

学生は、初めての実習先に行く時、不安を抱えており、できるだけ同行したいと考えています。教員は学校内での授業や実習もあり、難しいことが多いです。病院と学校は丸とな

って、未来の看護師を育てています。学生が安心してできる環境で学べるように、国や政府には将来を見据えた政策を考えてほしいです。

あなたにとって「みみはら」とは？

「良い看護は何か」を考え、助産師としての自分の思いの実現をサポートしてくれるところです。

座右の銘は？

「自律」。どのような状況でも、常に意識しています。

耳原総合病院で生まれ、耳原総合病院で看護師・助産師の経験を積み、今は泉州看護専門学校で後進を育成する「みみはらの人」です。休日は、家族とドライブし、自然に触れてリフレッシュされています。